

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 業務委託共通仕様書

この仕様書は、業務委託に係る業務の共通事項を示すものであって、実施に当たっては、誠意を持って行うものとする。

1 法令の遵守

乙は、業務の実施に当たって、関係法令を遵守すること。特に、関係法令に定められた諸手続（許可、届出等）を遅滞なく行うこと。

2 業務従事者の管理

乙は、業務責任者を委託業務実施施設内に常駐させ、業務従事者を指揮監督し、管理に万全を期するものとする。

甲又は甲の指定した監督員は、業務の実施に関し、仕様書に基づく注文等は、乙の選任した責任者に対して行うものとし、乙の従業員に対し直接これを行ってはならない。

3 研修の実施

乙は、業務従事者に対して、業務遂行に必要な技術を習得させるため、専門的知識を有する者による研修を、業務を開始する事前に実施すること。また、業務開始後も必要に応じて随時研修を実施すること。

なお、研修実施後は、実施した研修の概要について委託者に書面により報告すること。

4 業務従事者の確保

乙は、契約の履行を期するため、資格・技能等で業務の遂行に適した業務従事者を配置しなければならない。

5 業務従事者名簿

乙は、委託業務に従事する職員の名簿（担当業務、氏名、年齢、住所を記載したもの）に写真を添付して甲に提出するものとする。また、異動があった場合も同様とする。

6 業務の実施方法

業務は、乙の有する専門的な技術若しくは経験に基づいた方法で実施すること。

なお、業務の実施方法については、事前に甲の承認を受けるものとする。

7 業務の予定表

乙は、業務の履行に当たり業務予定表及び勤務予定表を作成し、監督員に提出すること。また、変更があった場合も同様とする。

8 感染症の報告

乙は、業務に従事する者の感染症の既往について、甲に報告しなければならない。

なお、感染症の既往がない場合は、乙の負担でワクチンを接種した後、配置しなければならない。

9 服務、規律

乙は、業務従事者に次に掲げる事項を厳格に守らせること。

- (1) 勤務中は、乙制定の衣服及び名札を着用すること。
- (2) 応接に当たっては懇切丁寧を旨とし、仮りにも粗暴にわたる言動があってはならない。
- (3) 勤務中に飲酒してはならない。また、酒気を帯びて勤務してはならない。
- (4) 建物内全館禁煙、その他勤務の遂行を怠るような行為をしないこと。
- (5) 患者への、業務上必要な範囲を超える行為をしてはならない。
- (6) 患者の金品の取り扱いには十分注意し、患者家族からお礼を受け取ることがないように注意すること。
- (7) 職務上知り得た秘密については、絶対に他に漏らしてはならない。
- (8) 業務中の私語は慎まなければならない。
- (9) 緊急の場合等の勤務変更は事前に連絡し、業務に支障のないようにすること。

10 貸与品・室

- (1) 甲は、甲から乙へ無償貸与する機械器具（以下「貸与品」という。）については、品名、数量、品質及び規格又は性能を明示し、乙に引き渡すものとする。
- (2) 乙は、貸与品の引き渡しを受けたときは、遅滞なく甲に受領書又は借用書を提出し、善良な管理者の注意をもって保管しなければならない。
- (3) 乙は、自己の故意又は過失により貸与品が滅失若しくは毀損し、又はその返還が不可能となったときは、甲が指定した期間内に代品を納め、若しくは原状に復し、又は損害を賠償しなければならない。
- (4) 委託業務履行に必要な休憩室等については無償とし、乙は、甲が指定した部屋等を使用すること。

11 委託業務実施記録

乙は、業務責任者に実施した日の委託業務実施状況を記録させ、原則として翌日監督員に提出すること。

12 業務上必要な情報、異常又は事故報告

乙又は乙の業務管理者は、業務に必要な情報、委託対象に異常を認めた場合は、直ちに監督員に通報しなければならない。

また、乙は、事故が発生したときは、直ちに適切な措置を講じ、監督員及び関係者に通報するとともに、事故の状況を記した書類を監督員を経由して甲に提出すること。

13 負担区分

委託業務履行のため、乙が使用する電力、ガス、給水及び電話の料金の負担は、履行場所における必要最小限度のものについて甲が負担するものとし、使用器具、報告書及び消耗品は乙の負担とする。

なお、特記仕様書で負担区分が明記してあるものについては、その負担区分によるものとする。

14 委託業務実施上の留意事項

業務の実施に当たっては、次の事項に留意すること。

- (1) 安全の管理及び事故防止に努めること。
- (2) 火気の使用に当たっては、十分注意すること。

- (3) 電力・ガス・水の使用に当たっては、極力節約に努めること。
- (4) 水の使用又は機械器具等の使用により、建物器物等に損傷を与えないこと。
- (5) 衛生に留意すること。
- (6) 整理整頓及び後片付け等に努めること。
- (7) 業務履行上、鍵が必要な場合は、甲・乙協議の上貸与するものとする。貸与を受けた鍵は慎重に取り扱い、業務の実施に必要な場合に限り使用すること。

1 5 委託業務完了の通知

乙は、契約書第10条第1項に基づき委託業務完了通知書1通を作成し、甲に提出すること。

1 6 定期的事務打合せの実施

甲及び乙は、業務の円滑な運営を図るため、定期的に事務打合せを実施するものとする。

1 7 引継期間の協力

契約終了に伴い、委託業者の変更がある場合においては、契約終了末日前の6月間、新規委託業者への業務内容研修を実施するとともに、業務の引継ぎについて協力すること。